

## 気道異物の除去

### 傷病者に反応（意識）がある場合

- ・傷病者に「のどが詰まったの？」と聞き、声が出せず、うなずくようなら窒息と判断し、ただちに119番通報を依頼し、次の方法で異物除去を試みる。

#### ①咳による異物の除去

- ・咳は、異物の除去にとっても効果があるため、咳をすることができるのであれば、咳をできるだけ続けて、詰まったものを出すようにしてもらう。



背部叩打法

#### ②背部叩打（こうだ）法（救助者が最初に行う処置）

- ・座って（立って）いるときは、少し上半身を前かがみにさせる。
- ・もしくは横向きに寝かせる体位（側臥位）をとらせる。
- ・傷病者の後方から手の付け根で肩甲骨の間を力強く何回も連続してたく。

#### ③腹部突き上げ法

- ・傷病者の後ろにまわり、ウエスト付近に手を回す。
- ・一方の手で握りこぶしを作り、その親指側を傷病者のへそより少し上に当てる。
- ・その握りこぶしをもう一方の手で握って、素早く手前上方に向かって圧迫するように突き上げる。



腹部突き上げ法

### 傷病者に反応（意識）がない場合

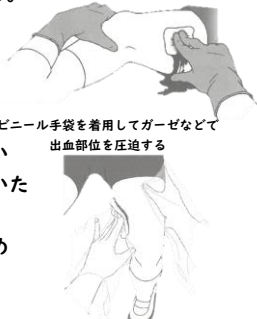
- ・最初から反応がない場合、もしくは最初は反応があったが応急手当を行っている途中でぐったりして反応がなくなった場合には、ただちに通常的心肺蘇生を行う。
- ・心肺蘇生を行っている途中で、口の中に異物が見えたら取り除く。
- ・口の中に異物が見えなければ、異物を探したり、無理に取り除いたりせず、心肺蘇生を続ける。

## 大出血時の止血法

一般的に体内の血液の20%が急激に失われると出血性ショックという重篤な状態になり、30%を失えば生命に危険を及ぼすといわれている。したがって、出血量が多いほど、止血手当を迅速に行う必要がある。

### 直接圧迫止血法

- ・出血部位を確認し、きれいなハンカチやガーゼ、タオルなどを重ねて傷口に当て、その上から手で圧迫する。
- ・圧迫にもかかわらず、出血がおさまらないときは、圧迫位置が出血部位からずれていたり、圧迫する力が弱い場合がある。
- ・止血の手当を行うときは、感染防止のため血液に直接触れないように、できるだけビニールの手袋や袋を使用する。



手袋の代わりにビニール袋を利用する

## 熱中症に対する応急手当

- ①風通しのよい日陰や、クーラーの効いた部屋などに避難させる
- ②衣服を脱がせ、体を冷やす
  - ・衣服を脱がせて体を濡らし、うちわや扇風機で風を当てると効果的である。
  - ・氷のうや冷却バックなどを用いて冷やすときは脇の下、太もものつけ根、首などに当てる。

- ・立ちくらみ
- ・こむらえり
- ・大量の汗のみ等

- ・頭痛
- ・吐き気
- ・倦怠感

- ・意識がもうろう
- ・体温が極端に高い

日陰などで体を涼ませ水分と糖分の含んだ飲み物を与える

体を冷やし医療機関を受診させる

119番通報して救急車要請

## 救急車の適正利用

岐阜市消防本部管内には、病気やケガをした方を搬送するために21台の救急車が配置されています。近年の救急件数増加により、救急車が不足してしまうおそれが・・・

救急車は貴重な医療資源です。こんなときはよく考えて！

- ・風邪をひいた
- ・歯が痛い
- ・眠れない
- ・お酒を飲みすぎた
- ・軽いケガ
- ・寂しい

### ①救急安心センターぎふ（#7119）

※058-262-3799による救急医療案内は廃止となりました。

急な病気やケガをしたときに、「救急車を呼んだほうがいいのか」、「今すぐ病院にいったほうがいいのか」など迷った際の相談窓口として、看護師等の医療従事者から電話でアドバイスを受けることができます。

- ・相談内容：救急相談・医療機関案内
- ・受付時間：24時間365日
- ・対象者：岐阜県に居住又は滞在している方
- ・対象年齢：全年齢
- ・利用方法：携帯電話・プッシュ回線から#7119

つながらないときは058-265-0009

イメージキャラクター  
かけてみいちゃん



### ②全国版救急受診アプリ（愛称「Q助」）



病気やケガをした際に「いつ病院を受診したらいいのか?」「救急車を呼んだ方がいいのか?」と迷ったときに、ご自身の判断を手助けするアプリです。

アプリの説明  
該当する症状を画面上で選択すると、緊急度に応じた対応が緊急性をイメージした色で表示されます。



QRコード

（製作：総務省消防庁）

### 救命講習のお問い合わせは各消防署まで

岐阜中消防署	058-262-7165
岐阜南消防署	058-272-2012
岐阜北消防署	058-231-5308
瑞穂消防署	058-327-0119
山県消防署	0581-22-0119
本巣消防署	058-324-0119

## 身につけよう 応急手当！

### 岐阜市消防本部（ガイドライン2020対応）

## 応急手当の必要性

### 救命の連鎖（Chain Of Survival）



心停止の予防

早期認識と通報

一次救命処置  
(心肺蘇生とAED)

二次救命処置と  
集中治療

### ●心停止の予防

子供の不慮の事故を防いだり、病気の初期症状に気付いて救急車を要請することが大切です。

### ●早期認識と通報

反応のない人を見たら心停止を疑い、119番通報とAEDの手配をします。

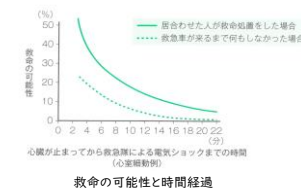
### ●一次救命処置（心肺蘇生とAED）

止まった心臓と呼吸を補助するため、胸骨圧迫・人工呼吸・AEDを用いた心肺蘇生を実施します。

### ●二次救命処置と集中治療

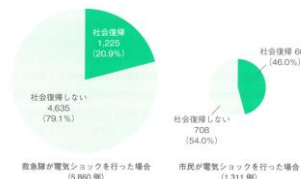
医師、救急救命士による二次救命処置により再び心臓を動かし、専門家の治療により社会復帰をめざします。

## 市民による一次救命処置と社会復帰率



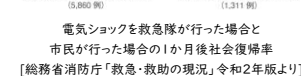
救急隊を待つ間に居合わせた市民が救命処置を行うと救命の可能性は

2倍！



市民が救急隊の到着までに電気ショックを行った場合の社会復帰率は

2倍！



リーフレット内のイラストの一部は「救急蘇生法の指針2020」市民用・解説編（発行：へるす出版）から引用しています。